

フィールドアーチェリーの諸注意

2004. 3. 14 作成

2005. 5. 26 改訂

2010. 6. 04 改訂

文責：田代智恵子

- ・フィールドアーチェリーは野山で行うので、地形の起伏があり、射ち上げ、射ち下ろし等があるのが特徴である。
- ・標的の数は1ユニット12標的（標準）で1標的に3射行射する。試合では2ユニット（マークド1ユニットとアンマークド1ユニット又はマークド2ユニット）のことが多い。
- ・4人又は3人のグループでコース内を進んでいく。
- ・各選手のゼッケン番号は例えば1-A、1-Bとなっており、同じ数字の人がグループになる。グループの中では、A立がリーダーとして行射を進行させ、B立、C立が得点を記録する。D立は矢取りの前の的中孔チェックを担当する。
- ・矢取りのときは、弓やその他の持ち物は原則としてすべて持って標的へ行く。そこからさっき射ったポストへ戻ることはない。次のポストへ移動する。フィールドアーチェリーでは、コースの逆行は厳禁（次に射つ人の標的になってしまう！ 但し、試合開始の合図の前及び試合終了が確認されたときはこの限りではない。）。
- ・ターゲットと違い、服装の規定は緩いので、ジーンズでもよい。但し、安全上の面から、迷彩服などは避けたほうがよいと思う。

○標的について

- ・それぞれの標的を射つ場所は、ポスト（標識）で示される。コンパウンド・リカーブは赤色のポストから、ベアボウは青色のポストから射つ。ターゲットと違いポストから足を前に出して射たない（要するにシューティングラインはまたがずに手前で射つ。）。
- ・コース（標的）には射つ距離が示されるマークドと距離が示されないアンマークドの2種類がある。
- ・標的は6点満点で、中心の5点と6点のみが黄色、それ以外の得点帯は黒で表される。5点の得点帯の中に6点がある。
- ・標的の大きさには20cm、40cm、60cm、80cmの4種類があり、射つ距離によって使用する標的の大きさは決まっている。
- ・20cm的はインドアの縦三つ目的の、40cm的はインドアの上下10点的の、60～80cm的はアウトドア80cm的の、要領で射てばよい。

- ・マークドコースの標的と距離については、次のとおり。

標的の大きさ (cm)	標的の数	射距離(m)					
		青色のポスト(BB)			赤色のポスト(RC・CP)		
20	3	5	10	15	10	15	20
40	3	15	20	25	20	25	30
60	3	30	35	40	35	40	45
80	3	40	45	50	50	55	60

- ・アンマークドコースの標的と距離については、次のとおり。

標的の大きさ (cm)	標的の数	射距離(m)	
		青色のポスト(BB)	赤色のポスト(RC・CP)
20	3	5～10	10～15
40	3	10～20	15～25
60	3	15～30	20～35
80	3	30～45	35～55

※BBはベアボウ、RCはリカーブ、CPはコンパウンドのこと

- ・競技中は、常用のサイトメモと得点の控え以外の、メモ類の使用は禁止されている。またアンマークドコースの場合、標的の距離について他の競技者と話をしてはならない。
- ・自分と同じグループに、同じノック・矢羽根の人がいると競技がしにくくなるので、自分が日頃使っているのとは違う色のノックを用意して換えられるようにおくこと。また、コースを回っているとき弓具破損が起こってもある程度は対応できるように予備の弦やレンチなどは持ち歩いたほうがよい。
- ・私の経験では、平地での18m・30m・50m・60m・70mのサイトが分かっていたら、何とか対応できると思う。射ち上げ、射ち下ろしでのサイトの調整は、経験で覚えるしかない。